

福祉用具貸与事業所におけるBCP策定とは

そもそもBCPとは？事業継続計画（business continuity plan）。災害や感染症の流行など事業継続に支障をきたす状況にあっても、被害を最小限に抑え出来るだけ早く事業を再開させるために作成する計画の事。既存の防災計画との違いは、既存の防災計画は命を守るや、発生から数時間から数日（復興されるライフラインが回復する）といった自分の事と完結の見える期間で有る事に対し、BCPは、関わる人（福祉用具貸与で言えば何かしらのレンタルをしている全て）（職員の雇用）の生活を守る事、発生時から昨今の現実を見れば分かる様に、どのくらいその期間があるのか未定という違い。そして被災しながらも、運用をしなければならない事にあります。BCPは、基本的にリスク（地震、風災害、新型コロナ）ごとに策定する事が一般的となります。この富士宮（静岡県全域）は、南海トラフ地震防災対策推進地域となりますので、さらに強化されたBCPが必要となります。感染防止対策などと違い、『いつ地震が発生し、どんな規模でどんな被害があるか』想像がつかない事が要因の一つに挙げられます。地震があったら→停電→エアマットや起居動作に問題が→食事や排せつ動作などの問題に繋がる。要因解決は電源だけで可能か？地面沈下などで避難地に移動する際、車イスだけで大丈夫か→介助者の負担と体力はどうか→避難先に車イスでの侵入が可能か。要因解決は車イスを動かす介助力か？在宅されている利用者さんが、デイサービスや施設利用の際に、関わる利用者さんだけを助ける事で、万事成立するのか？その場所に派遣させる福祉用具専門相談員の知識は十分か？そしてそれを成し遂げる事が出来たととしても、事業として会社として従業員や利用者を守りながら、いつまで続くか分からない中、事業継続が可能なのか？準備や設備投資、莫大なる費用と時間が必要ですが施行まであと2年。

自社在庫を確保しています！地域最大級の展示スペース！

即納、緊急対応、部品交換、時間外対応、選定アドバイスに自信あり！

『とりあえず、KAGOYAに頼めば何とかなる』 まず御電話をw

【十千花前 清水】清水区真砂町2-24 Tel:054-365-8808

清水駅から銀座商店街に入ってすぐの所にあります、なすびグループの一つでもあります、こちらのお店。基本は静岡おでんと、旬の食材を活かした天ぷらや、創作料理です。コロナ禍も落ち着いてきた事もあり、清水遠征とは言え今や静岡市ですので、おでん盛りを頂きました。この辺りとはやはり違います。同じ黒はんぺん、同じちくわ、同じゆで卵なはずなのに・・・じわああ感が違うと言いましょかw 美味でした。何個も食べれませんでした。良き大人の時間でした。



終活カウンセラー協会2級検定



現在、様々な「終活の資格」があります。どれも「終活」について学び、自分の事、家族の事、友人の事、想いは同じく楽しくそして安心して残りの人生を見つめ直し「今」をより良く生きる活動で有る事に変わりはないと思います。私が、認定講師、終活式コーディネーターをして所属しております（社）終活カウンセラー協会の代表理事が初めて「終活」を世に知らしめた方です。まだ広辞苑に掲載されてない事を常日頃残念がっておりますw 各地でこのプロ集団が造った認定資格を得る事が出来ます。市内でも私主催で、検定を実施できます。施設内、家族間開催も可能です。